

(別紙様式1)

## 令和 3年度学校評価実施計画

学校名 壘学校

前年度評価結果の概要	「大分県スタンダード」と「一人三実践」の取り組みを進め、わかる授業の徹底を図るよう授業公開や研究授業をすすめる授業改善を進め専門性の向上に努めてきた。授業改善の意識は高まっているが、ICTの活用や主体的・対話的で深い学びについて進めてきたが、取り組みが十分でなく、「授業が分かりやすい」と感じているの評価が低くなっている。安心・安全で信頼される学校を目指すため、警備・防災計画や避難訓練の見直しや医ケア・緊急対応訓練、給食等の危機管理体制の見直し改善に努めてきた。今後も安全で信頼される学校づくりに向け努めたい。
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
聴覚に障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、学校組織として一貫した教育を行うことにより、確かな学力と豊かなコミュニケーション力の向上を図り、様々な人々と関わりながら社会参加していく態度・習慣を養う。	(1) 個別の指導計画を活用し、一人一人の教育的ニーズについて共通理解をした実践を行う。 (2) 各学部間や寄宿舎との連携を強化し、幼稚部から高等部までの一貫教育を推進するとともに、安心・安全な学校づくりを推進する。 (3) 本校に勤務するすべての教職員が、必要な知識・技能及び手話力を身に付け、教育(相談)活動を充実させる。	○分かる授業の徹底(主体的・対話的で深い学びの実現) ○安心・安全で信頼される学校 ○効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
○分かる授業の徹底。 (主体的・対話的で深い学びの実現)	○毎学期実施の幼稚部保護者アンケートで「授業内容がわかる・ほとんどわかる」が90%以上。毎学期実施の小学部・中学部・高等部児童生徒アンケートで「授業内容がわかる・ほとんどわかる」が90%以上 ○1人3実践の実施100%。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合理的配慮の提供と個に応じた指導・支援を図るため個別の指導計画の見直しを図る。</li> <li>・ICT機器の活用や主体的・対話的で深い学びにつながる授業の実施</li> <li>・大分県スタンダード及び大分スタンダードの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期中に聴力の言語発達段階の状態を客観的に把握する。</li> <li>・1学期中に幼児児童生徒の実態把握と共通理解を図る。</li> <li>・1学期中に保護者との共通理解を図り、個に応じた指導を行う。</li> <li>・学期に1回個別の指導計画の見直しと改善を行う。</li> <li>・1学期中にカリキュラムマネジメント研修を行う。</li> <li>・全ての授業でICT機器や絵カードなどを効果的に活用し、幼児児童生徒の実態に合わせた視覚的な教材を準備する。</li> <li>・全ての授業で授業構想や内容の工夫で生徒に考えさせたり、説明させたりする場面を1回は設ける。</li> <li>・月に1回の授業研究(テーマを決めた授業研究)を実施する。</li> <li>・授業公開2回(新任は1回)以上、授業参観3回以上実施する。</li> <li>・年間2回授業観察シートの活用による振り返り検証を行う。</li> </ul>	PL:主幹教諭 SL:教務主任 SL:学部主事
○安心・安全で信頼される学校。	○職員アンケート・保護者アンケートで安心・安全にかかわる項目の平均で「できている・ほとんどできている」が90%以上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未然防止につながる危機管理体制の構築</li> <li>・緊急対応訓練の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間1回子どもたちが危険認知力を高めるための職員研修を実施する。</li> <li>・年間3回危険認知の力を育てるための防災避難訓練を実施する。</li> <li>・年間1回緊急時の家庭との連絡体制の改善に向けた訓練を実施する。</li> <li>・年間1回防災士、自治会や大分市との連携、協議する。</li> <li>・年間2回校内および幼児・児童・生徒の防災備蓄品確認する。</li> <li>・年間1回普通救命講習の実施する。</li> <li>・年3回養護教諭不在時を想定した緊急対応訓練の実施とマニュアルの確認。</li> <li>・月1回の校内の安全点検を実施し、改善を図る。</li> <li>・年間3回衛生用品の備蓄、確保と確認を行う。</li> <li>・ヒヤリハットの全職員への周知及び対策改善を図る。(随時)</li> </ul>	PL:生徒指導主任 SL:保健主任 SL:防災教育コーディネーター
○効果的な教育活動を行うための働き方改革の推進。	○年休取得率12日以上 ○職員アンケートで業務改善満足度90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇を取得しやすい職場環境の整備</li> <li>・個人執務時間の確保のための環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月末総務事務システムを活用し各自の年休取得状況・超勤状況を把握する。</li> <li>・計画的に年休を取得する。(学期に4日程度)</li> <li>・月2回のノー残業デーを設定する。</li> <li>・月2回事務処理日の設定する。(ノー部活・ノー会議デー)</li> <li>・校務支援システムを利用して授業時間数のチェック</li> <li>・効果的な業務改善の推進(一人一改善 全職員)</li> </ul>	PL:衛生管理者 SL:教頭 SL:主幹教諭